

# 西上小だより

## 学校教育目標

- 明るく元気な子
- よく考える子
- 仲良くがんばる子

平成31年3月13日(水)  
土幌町立西上音更小学校  
校長 川上 裕明



## たっぷりスキー学習

2月27日、サホロスキー場でスキー学習を行いました。

今年は十勝管内どこも雪が本当に少なく、2月末の実施ということもあって心配していましたが、ゲレン

デの状態は上々。天気にも恵まれ、講師の名波さんや山中先生は楽しく指導してくださり、児童はみんなすくすく上達していました。

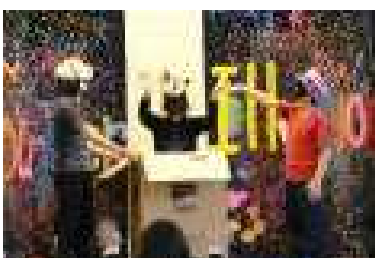


## 6年生を送る会

恒例の「6年生を送る会」を行いました。

5年生の□□さんが中心となり、在校生みんなで4人の6年生を送る会。保護者の方もたくさん来ていただきました。

中学年のスーパーイリュージョン(!?)には本当にびっくり。低学年や□□さんのクイズには全員参加で大いに盛り上がりました。高学年と先生方による特別編成バンド演奏やお母さん方からのお手紙など、楽しく心温まる会でした。



この日は、STVの□□さんが引き続き取材に来てくれました。「熱烈!ホットサンド!スペシャル」3/31放送!



こちらは閉校記念パーティー（2/14）より……高学年提供のすごい手作りケーキ！

◇◇校長室から◇◇ **負けてわかること** ～3/7の朝会でお話ししました～

2/24に行われた町内小学生ミニバレー大会，四代目真西ハムは準優勝という結果でした。

「11月の町民体育祭と12月のとかちっ子大会に続く優勝で，三冠達成を！」と意気高く臨んだ我がチームでした。放課後練習には，保護者や元監督の方々，バリバリの選手である青年部のお兄さん方も

来てくださり，中身の濃い練習ができました。常勝西上小チームの仕上がりは良く，低学年チーム西上sixともに持ち前の粘り強さも健在でした。「しかし……」の準優勝，応援の私がこれだけ悔しいのですから，選手の思いはとても大きいことでしょう。

大会が終わって2週間ほどたちました。私はこの大会から2つのことを考えました。

一つは，「『負け』を経験したことは，今後の大きな力になる」ということです。

今年行われた3度の大会，決勝はすべて「西上小VS上居辺小」でした。上居辺小は，「今度こそ，打倒西上小」を胸に秘めて2月の大会に臨んできたことでしょう。「西上には，もう勝てないや」などとあきらめたりすることなく，気持ちをさらに強くして努力してきたはずです。考えてみれば，どの大会でも優勝できるのはただ1チームだけです。それ以外の敗者は，残念さと悔しさをこらえ，自分たちの弱点を見つめ，次は勝とうと練習を重ねて努力して2月の大会に臨みました。西上小の低・中学年チームである西上sixもその一つです。

負けても立ち上がる，次に向けて努力する……これからの人生，おそろしくつもの「負け」を味わうことになります。その「負け」を，ただのつらいできごとで終わらせず，そこから学んで次に生かすことができれば，きっともっとたくましくなれるはずです。

もう一つは，「この機会に出会えた，感謝を忘れないようにしたい」ということです。

「負けるぐらいなら大会に行かなきゃ良かった……」と思っている人は……いないと思います。もちろん悔しさはあります。しかし，大会であれだけがんばれたのは，練習で力を与えてくれた監督や保護者の方，先生方，地区のみなさんがいたからです。練習や大会の送り迎えやお世話をしてくれた，保護者のおかげです。そもそも，土幌町の方が大会を開いてくれたから，あの場がありました。たくさん「おかげ」に感謝したいですね。

そして何より，共に競いあった上居辺小や他チームの選手がいたから，あの日の大会がありました。もし「今日この大会に参加しているのはあなたのチームだけだから，あなたが金メダルです」と言われたらうれしいですか？そう考えると，大会に参加した他チームの選手は「敵」ではなく「仲間」であったと言えるでしょう。そして，ミニバレー大会で戦った他校の選手たちと，4月から同じ教室で過ごすこともあると思います。あの日，同じ会場で競い合った「仲間」同士，4月から競い合ったり協力したり，また互いに高め合っていけたら素晴らしいですね。

第43回町内小学生交流ミニバレー大会  
準優勝：4代目真西ハム  
ベスト8：西上six

第28回日専連全国児童版画コンクール  
銀賞：□□□□□□



未来をつかむ西上音更小学校～きらり・がっちり・にっこり～